

Title	ポリシー・マネジメントの国際比較
Author(s)	
Citation	年次学術大会講演要旨集, 15: 143
Issue Date	2000-10-21
Type	Presentation
Text version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/10119/5799
Rights	本著作物は研究・技術計画学会の許可のもとに掲載するものです。This material is posted here with permission of the Japan Society for Science Policy and Research Management.
Description	シンポジウム



ポリシー・マネジメントの国際比較

講演者と演題

- 大 見 忠 弘 （東北大学未来科学技術共同研究センター教授）
情報通信革命時代の日本の戦略—科学技術創造立国—
- 谷 口 洋 志 （中央大学経済学部教授）
I T ・電子商取引をめぐる政策の国際比較—米国・EU・日本—
- 丸 山 瑛 一 （理化学研究所フロンティア研究システム長）
ナノテクノロジー
- 大 塚 善 樹 （広島経済大学専任講師）
遺伝子組換え（GM）作物の規制—実質的同等性と予防原則—
- 和 田 昭 允 （理化学研究所ゲノム科学総合研究センター所長）
理研 ゲノム科学総合研究センターの特徴と戦略
- 平 澤 冷 （政策研究大学院大学教授）
I T S 関連政策の国際比較：政策分析の視点から

司 会

- 廣 松 毅 （東京大学大学院総合文化研究科教授）

趣 旨

我が国では、行政組織の改革に続いて、その組織運営の革新やそのための体制整備が次の課題として認識されています。このシンポジウムでは、科学技術に関係する個別の政策分野毎に、国際比較の視点から、我が国の政策経営（ポリシー・マネジメント）のあり方について検討を深めたいと考えています。

ここで用いるポリシー・マネジメントとは、政策の形成から運用に至る一連の過程に関するマネジメントと定義し、我々の主な関心を政策の具体的な内容（コンテンツ）、政策の形成や展開に関わる体制や取り組み方（マネジメント・システム）、あるいは政策を構想する理念、思考の枠組み、知的基盤（概念システム）等とその関係に絞り、それらのあり方について科学技術分野毎に我が国を含む国際比較を行い、ファクツを見いだし、その含意を事例的に検討していくこととします。